

## 事業者向け 放課後等ディサービス自己評価表

放課後等ディサービスkai  
実施日 : 2023年3月20日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			個別支援型ディサービスとして適切な人数とスペースである
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			利用者の安全と療育の機会を担保する配置人数である
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			<input type="radio"/>	入口に段差や坂があり、トイレに手摺りが無い
業務改善	④	業務改善を進めるためのP D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			情報共有システムにて担当するスタッフ同士が常に報告や相談を実施している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			全保護者よりアンケートをいただき、ご意向を支援に生かせるように全スタッフへ共有されている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			法人HPにて公開するとともに、保護者へ送付している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	法人理事会にて評価を受け業務の改善に繋げている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			アドバイザーが定期的な研修を実施し、常時相談できる仕組みになっている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者とは常にSNSで情報を共有し、定期面談にて支援の方向性を確認している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			クラウド内でアセスメントを管理しており、全スタッフが使いこなせるように研修している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			担当チーム員同士が集約された情報を共有しやすいシステムを実施している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			個別支援型の利点を生かし、本人の様子や成長具合で臨機応変に取り組みを変化させている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			平日の昼間は不登校児童や通信制の高校生が通い、休日や長期休暇時には複数名で取り組めるプログラムを提供している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成しているか			<input type="radio"/>	個別活動中心となっているが、休日や長期休暇時に集団プログラムを提供しており、集団活動のデイを併用する利用者が増えてきた
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			必ず支援前に前回担当したスタッフの記録を確認し、分からることは管理者かアドバイザーに質問をする仕組みになっている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			<input type="radio"/>	個別支援のため振り返りと記録は担当者のみで行い、気付いた点等は管理者や児童発達支援管理責任者と共に共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎回支援後に取り組み内容を記録し、気付いた点はアセスメントへ残し、定期的に担当チーム員同士で支援計画を見直している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			生活リズムや学校生活が不安定な場合は毎月のようにモニタリングを実施し、安定している利用者とは一年毎に支援計画を見直している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	<input type="radio"/>			ガイドラインを意識して支援計画を立て実施している
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			必ず児童発達管理責任者と担当スタッフが出席している

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			必要性のある利用者の場合は積極的に実施しているが、高校生（特に通信制）は行っていない
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医と電話連絡や、受診時に同席させていただき正確な情報を共有した上で適切な配慮を行っている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	小学生高学年からの受け入れデイのため、就学前の関係機関とはやりとりが無い
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			福祉的就労や訓練機関へ繋がる卒業生が多く、移行期のみならず適宜詳細な情報を提供している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	発達障害者支援センターが実施する学習会には積極的に参加しているが連携はしていない
	㉖	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	マンツーマン支援のため、他機関との交流の機会を作ってはいない
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			SNSで報告と相談を気軽に行えるようにしており、定期面談と臨時面談で共通理解に努めている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	個別の面談などで助言をする程度である
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に詳しく説明を行い、後から確認ができるようにお渡ししている
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談にはたっぷりと時間を確保して、療育の観点から福祉事業所としての助言と支援を行っている
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		進学を控えていたり、同じ課題に取り組んでいる少人数の保護者会を徐々に始めている
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に説明を行い、重要事項説明書にも記載している
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月発行、郵送している
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			紙資料は鍵付きキャビネットにて保管、クラウドはパスワードを設定
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			マンツーマン支援のため本人の気持ちや様子を把握しやすく、保護者とは常にSNSやお迎え時に情報を共有している
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			ご家庭の不要となった物を持ち寄り、必要な物を持ち帰る「わらしべ市」を毎月開催することで、地域住民との交流が広がっている
非常時	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員へは入職時に、保護者へは利用契約時に説明を行っている
	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		ミーティング時に情報共有をしているが、実地訓練は行えていない
	㉟	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		ミーティング時に情報共有をしているが、十分ではない

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
等の対応	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>			ミーティング時に職員への周知は行っているが、本人や保護者への説明は実施しておらず、サービス計画に記載していない
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			保護者からの情報に基づき対応している
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			事例集を作成していないが、各プログラムで起きたトラブルや課題は以降に引き継がれていくシステムになっている